

- 長田 京子：元基礎看護学講座教授
福間 美紀：基礎看護学講座教授
宇佐美しおり：四天王寺大学看護学部・看護実践研究開発センター教授
鶴屋 邦江：医療法人実風会新生病院 副看護部長

1. 科目の教育方針

人々の健康生活を支える看護活動を効果的に展開するには、保健・医療・福祉の分野や組織の部門・部署を超えて、継続的で柔軟なケアのネットワークを構築していくことが重要となる。コンサルテーションは、ケアのネットワーク構築を推進するうえで重要な機能を果たす。CNSをはじめとする大学院修了者には、専門分野の高度な看護実践に関する相談・支援活動を展開することはもとより、ヘルスケア組織全体の看護の質向上のために、各機能間の協働と連携の調整者として、リーダーシップを発揮することが期待されている。

本科目ではコンサルテーションの理論と方法について学習し、看護職をはじめとする保健・医療・福祉領域の専門家に対する相談・支援・調整活動を行うための実践的能力を養う。

2. 教育目標

- 1) 保健・医療・福祉領域のケア提供者の職務遂行上の問題解決過程における相談・支援活動の目的と方法について理解する。
- 2) コンサルテーションの理論を学び、その概念、モデル、タイプ、プロセス、コンサルタントの役割、および活動の方法について理解する。
- 3) 職員のメンタルヘルスに関するコンサルテーションに必要な諸理論と職場におけるストレスマネジメントの具体的方法を理解する。
- 4) 看護実践に関するコンサルテーションについて、個人、集団、組織に対するコンサルテーションの具体的方法を理解する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

- 1) コンサルテーションに関する理論、知識、方法について、講義、関連図書や論文の講読等をとおして理解を深める。
- 2) コンサルテーション事例の検討は、ロールプレイとディスカッション、分析結果や気づきに関する討議による演習形式で進め、実践力の向上を図る。

【評価】

評価は、授業への主体的参加、討議、レポート等により総合的に行う。

4. 参考図書等（ *その他の図書・文献は授業で紹介する。）

- 1) 宇佐美しおり、野末聖香編：精神看護スペシャリストに必要な理論と技法、日本看護協会出版会、2009.
- 2) E・H・シャイン著、稲葉元吉他訳：プロセス・コンサルテーション、白桃書房、2011.
- 3) エドガー・H・シャイン著、金井壽宏監訳：問いかける技術、英治出版、2014.

5. 教育内容

後期木曜日 16:50~18:30

| 回 | 月/日 | 内 容 | 講師 |
|----|--|--|----------|
| 1 | 10/8 | コンサルテーションの概念 コンサルテーションの歴史的発展、定義、目的 コンサルティとコンサルタントの関係 コンサルテーションのプロセス、コンサルタントの役割 | 長田 |
| 2 | 集中 10/11 (日) 9:00~ 16:30 | 看護におけるコンサルテーションの理論と実際 ・コンサルテーションのタイプとモデル | 宇佐美 |
| 3 | | ・個人へのコンサルテーション 1 | |
| 4 | | ・個人へのコンサルテーション 2 | |
| 5 | | ・グループ、組織へのコンサルテーション | |
| 6 | 10/29 | 倫理的調整におけるコンサルテーション | 福間 |
| 7 | 11/5 | 看護管理におけるコンサルテーション | 福間 |
| 8 | 集中 11/14 (土) 12:50~ 16:20 | CNS の活動におけるコンサルテーションの実際 ・方法、戦略、課題 (1) | 鶴屋 |
| 9 | | CNS の活動におけるコンサルテーションの実際 ・方法、戦略、課題 (2) | |
| 10 | 11/19 | ストレスマネジメントに関する理論とコンサルテーション | 長田 福間 |
| 11 | 11/26 | 看護職としての成長支援に関する理論とコンサルテーション | 長田 福間 |
| 12 | 12/3 | コンサルテーション展開演習 | 長田 福間 |
| 13 | 12/10 | コンサルテーション展開演習 | 長田 福間 |
| 14 | 12/17 | コンサルテーション展開演習 | 長田 福間 |
| | | レポート「コンサルテーションの実践における自己の課題」 締切: 2020.1.12 (火) 正午、提出: mk8592@med.shimane-u.ac.jp | 長田 |